

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：身のまわりの生活から探求する文化人類学入門 ILAS Seminar：Introduction to Everyday Anthropology			担当者所属 職名・氏名	人文科学研究所 准教授 酒井 朋子		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2024・前期	受講定員 (1回生定員)	9(9)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	人文科学研究所 本館1階 セ ミナー室1(本部構内)		使用言語	日本語	
キーワード	人類学 / 生活 / 学術エッセイ執筆						
【授業の概要・目的】							
<p>自分自身の身近な日常生活の身体的な側面や、そこにおける空間やモノとの関わりについて考える。それを通じて、人の日常生活がいかに形作られ、そこにどのような社会的な力がはたらいており、どのような社会的なしくみや構造の上に成り立っているのかを、批判的にみる目を養う。</p> <p>「汚穢」「乱れ」「おぞましい」などのキーワードをテーマに編まれた学術エッセイ集を最初の手がかりとし、参考文献の購読もまじえながら、自身の生活を分析題材とする方法を実践的に学んでいく。</p> <p>授業の最後には各自が生活を題材とした学術エッセイ(=期末レポート)を仕上げ提出・共有する。</p>							
【到達目標】							
<p>1)文化・社会人類学の基礎的なアプローチを理解し、テキストの内容を正確に要約できるようになる。</p> <p>2)身近で具体的な事例を詳細にわかりやすく記述するとともに、それを抽象度の高い理論的なまなざしと組み合わせる文章を書く力を身につける。</p> <p>3)他の受講者の発表や文章に関心を持って聞き、読み、その内容について踏み込んだ議論をする力を身につける。</p>							
【授業計画と内容】							
<p>(1)イントロダクション</p> <p>(2)汚穢と生活という問題系</p> <p>(3)ー(5)テキストに関する個別発表</p> <p>(6)ー(7)日常生活を学術的にみるための参考テキスト購読(人類学)</p> <p>(8)ー(9)日常生活を学術的にみるための参考テキスト購読(歴史学)</p> <p>(10)ー(11)日常生活を学術的にみるための参考テキスト購読(地理学)</p> <p>(12)ー(14)生活に関わる学術エッセイ文章の構想発表</p> <p>(15)フィードバック</p>							
【履修要件】							
特になし							
ILASセミナー：身のまわりの生活から探求する文化人類学入門(2)へ続く							

ILASセミナー：身のまわりの生活から探求する文化人類学入門(2)

【成績評価の方法・観点】

個別発表：40%

期末レポート（エッセイ）：40%

授業中の議論への参加：20%

【教科書】

酒井朋子・奥田太郎・中村沙絵・福永真弓編 『汚穢のリズム 日常の感覚をめぐるエッセイと対話』（左右社、近刊）

【参考書等】

（参考書）

授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

自分自身の毎日のふるまいや行いを、とくに身体・空間・モノ・感覚経験（知覚経験）に注意して見つめなおし、気づいたことがあれば頻繁にメモを取ったり写真など記録に撮っておいてください。

【その他（オフィスアワー等）】